〇基本計画の名称：高崎市中心市街地活性化基本計画（第 4 期）

〇策定主体：群馬県高崎市

〇計画期間：令和 7 年 4 月から令和 12 年 3 月まで（5 年）

１．中心市街地の活性化に関する基本的な方針

［1］これまでの中心市街地活性化に関する取組の検証

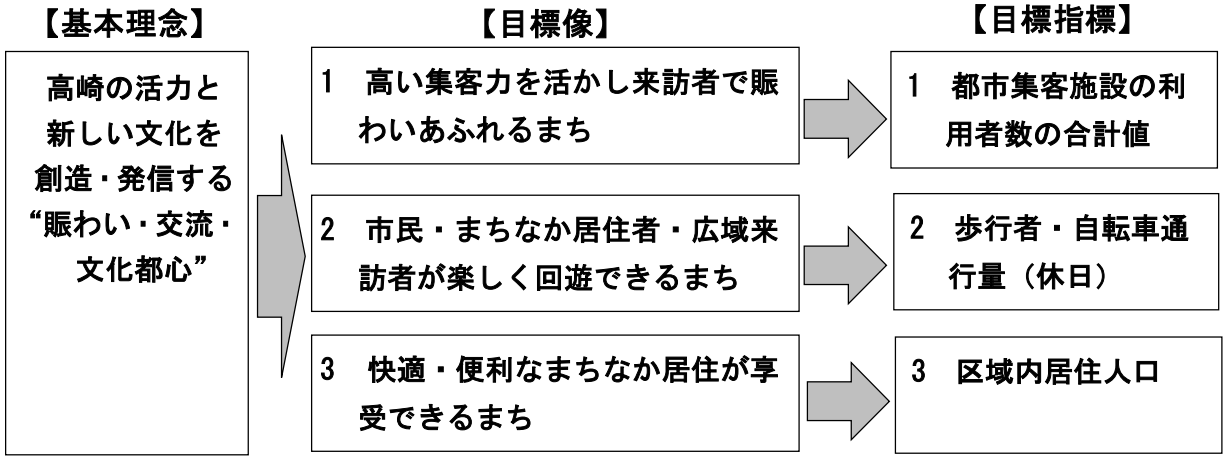
（1）第 3 期基本計画の概要

①計画期間　　令和 2 年 4 月から令和 7 年 3 月まで（5 年）

②区域面積　　約 180ha

③基本理念、目標像及び目標指標

第 3 期基本計画では、以下の基本理念と 3 つの目標像、目標指標を設定しました。



（2）事業の進捗状況

第 3 期基本計画には 5 分類、66 事業を位置付けましたが、このうち当初計画期間（令和 6 年度末）内に完了した事業が 3 事業（5%）、実施中が 63 事業（95%）となっています。なお、実施中の 63 事業のうち 55 事業（83%）は、特に期限を定めず継続的に取り組んでいる事業です。

事業分類別では、都市集客施設等の整備など、本市に新たな都市発展を牽引する「1 市街地の整備改善」に関するハード事業の中に、当初計画期間内に完了しない事業が見られ、今後も引き続き事業の実現に向けて取り組む必要があります。また、ソフト事業中心の「4　商業活性化の事業」に関しては、特に期限を定めていない実施中の事業が多く見られ、今後も引き続き事業の推進を図る必要があります。

■第 3 期基本計画掲載事業の進捗状況

	完了	R6 完了	実施中	左記のうち期限なし	未実施	合計
1　市街地の整備改善	2		5			7
2　都市福利施設の整備事業			1			1
3　居住環境の整備			3	3		3
4　商業活性化の事業	1		52	52		53
5　一体的推進事業			2			2
合計	3 (5%)	(0%)	63 (95%)	55 (83%)	(0%)	66 (100%)

（３）目標指標の達成状況

①目標指標１　都市集客施設の利用者数の合計値

都市集客施設の利用者数の合計値は、最新値（令和 5 年度）が 1,285,839 人で、計画策定時の当初目標（2,235,000 人）の約 6 割程度の数値となっています。計画期間中の平均でも、1,088,923 人となり、最終年度に目標を達成することができない見込みとなっています。

これは、計画当初に蔓延した新型コロナウイルス感染症の影響が大きな要因となっており、その後、計画期間中に利用者数は順調に回復し増加傾向にありますが、当初の目標には達していません。今後、計画中の施設等の完成により、予定された効果が期待されます。

②目標指標２　歩行者・自転車通行量（休日）

新型コロナウイルス感染症の影響で、令和 2 年から令和 4 年までの休日の歩行者・自転車通行量調査は未実施となっていました。令和 5 年度に再開した調査では、43,631 人となり、この数値は、計画策定時の目標である 58,800 人の約 7 割にとどまり、目標値を下回る結果となっています。

これは、新型コロナウイルス感染症の影響によるものが大きく、計画期間中において中心市街地に回遊性と賑わいが戻りつつあるものの、今後も引き続き個店の魅力アップを推進する「高崎市まちなか商店リニューアル助成事業」、中心市街地の回遊性と賑わいの向上を図る「高崎まちなかオープンカフェ推進事業」、「高崎まちなかコミュニティサイクル推進事業」やその他イベントを中心としたソフト事業を継続して実施し、歩行者・自転車通行量の増加につなげていきます。

③目標指標３　区域内居住人口

区域内居住人口は、最新値（令和 5 年度）が 28,264 人で、計画策定時の当初目標（30,100 人）を達成できていない状況です。

これは、人口減少の加速化や少子高齢化が影響しているもので、中心市街地でも高齢化が進み、人口も緩やかに減少しています。一方「高崎駅東口第九地区市街地再開発事業」で整備した高層タワーマンションや民間高層マンションの完成したエリアでは、人口の増加が見られ、事業の効果が現れています。

今後も、人口減少は避けられない状況の中、子育て世代や高齢者を含めた多くの人

にとって住みたい、住み続けたいと思えるような賑わいあふれる街づくりを実施し、地域の魅力を高め、区域内居住人口の維持・増加を図ります。

■目標指標の達成状況

目標指標	基準値	目標値	最新値
都市集客施設の利用者数の合計値	883,107 人 (H30)	2,235,000 人 (R6)	1,285,839 人 (R5)
歩行者・自転車通行量（休日）	49,933 人 (H30)	58,800 人 (R6)	43,631 人 (R5)
区域内居住人口	28,296 人 (H30)	30,100 人 (R6)	28,264 人 (R5)

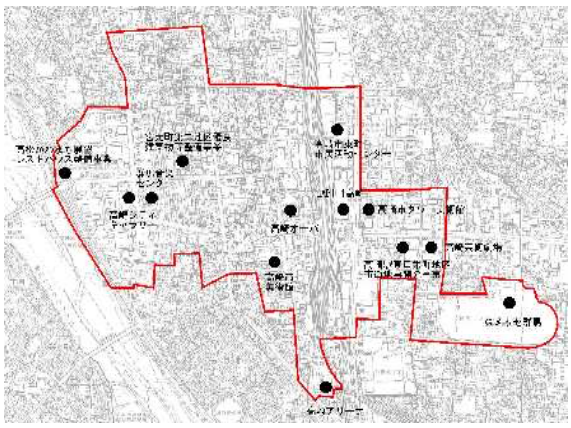
（４）中心市街地活性化の課題

第 4 期基本計画に反映すべき第 3 期基本計画の課題として、以下の 3 点が挙げられます。

【課題１】 新たな都市発展を牽引する都市機能の整備＜都市機能＞

・高崎駅東口に整備された高崎芸術劇場やＧメッセ群馬に加え、第 3 期基本計画期間中からの継続事業の高崎駅東口栄町地区の市街地再開発事業やパブリックゾーン整備事業などの都市集客施設は、高崎市の新しい都市発展を促進する重要な役割を果たすことが期待されています。また、整備後の都市集客施設においては、集客力の高いイベントを積極的に開催し、市内外からの来訪者を誘引するための継続的な取り組みが不可欠です。これにより、地域の活性化と経済の発展が図られることが期待されます。

■高崎駅周辺の集客施設



【課題２】 中心商店街への活性化効果の波及＜賑わい＞

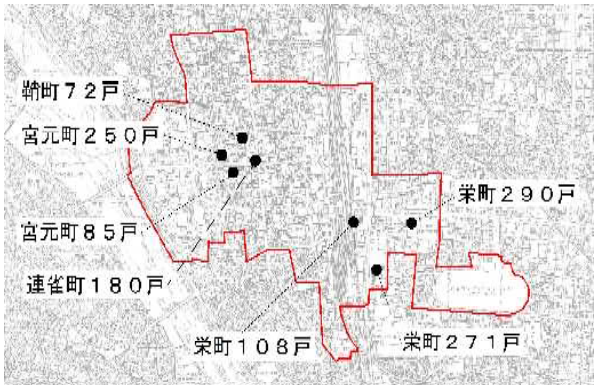
令和 2 年度から令和 4 年度まで新型コロナウイルス感染症により、歩行者・自転車通行量の調査が未実施のため、中心市街地への活性化効果の分析が困難ではあるが、令和 5 年度の数値をみると高崎駅東口側で賑わいの回復が見られる反面、中心商店街では、歩行者・自転車通行量が伸び悩んでおり、引き続き活性化に向けた取り組みを進める必要があります。

このため、高崎芸術劇場やＧメッセ群馬を含め、今後整備の高崎駅東口栄町地区再開発により、市内外からの来訪者が中心市街地を回遊するなど、高崎駅周辺地区の活性化の効果を「お店ぐるりんタクシー運行事業」や「高崎まちなかコミュニティサイクル推進事業」等で中心商店街に波及させることが重要となっています。

【課題３】 まちなか住民の交流重視した地域コミュニティの形成＜居住＞

・中心市街地の人口は、ほぼ横ばいで推移しているが、一方で少子高齢化も進行していることから、将来的に中心市街地の活力を下支えする住民の減少が危惧されます。
・このため、住宅供給を促進し、まちなか居住の推進を図るとともに、新旧住民間のコミュニティ形成（地域交流）を図る取り組みにより、暮らしやすい環境づくりも並行して進めることが重要になります。

■中心市街地周辺の高層共同住宅開発予定



（５）中心市街地活性化の方針（基本的方向性）

第４期基本計画では、第３期基本計画の方針を継承し高崎駅東口周辺に整備された高崎芸術劇場やＧメッセ群馬のほか、今後整備予定の高崎駅東口栄町地区再開発ビル等の都市集客施設のハード事業を活用し、その事業効果をソフト事業で中心市街地全体に波及させるという戦略方針の下、前述の課題に対応した以下の３つの基本方針に沿って、多様な施策を積極的に展開します。

■基本的な方針

課　題	基本方針	
【課題１】新たな都市発展を牽引する都市機能の整備≪都市機能≫	【基本方針１】都市集客施設の整備等による市内外からの来訪者の誘引	高崎駅東口周辺に整備した高崎芸術劇場等の都市集客施設における各種イベントの開催等により、市内外からの来訪者を積極的に誘引します。
【課題２】中心商店街への活性化効果の波及≪賑わい≫	【基本方針２】中心市街地における来訪者の回遊促進	増加が期待される市内外からの来訪者を、さらなる活性化が必要な中心商店街ゾーンを含めて、中心市街地全体に回遊させ、中心市街地にふさわしい賑わいを取り戻します。
【課題３】新旧住民の交流を重視した地域コミュニティの形成≪居住≫	【基本方針３】まちなか居住の誘導・促進	公共交通等の利便性が高く商業施設や公共施設等が充実している中心市街地の人口増加を促進し、新旧住民の交流を重視した地域コミュニティの形成を図ります。

■中心市街地活性化の戦略方針

【STEP1】交流人口・居住人口を増やす

【戦略方針１】交流人口を増やす

➢ 高崎駅周辺における都市集客施設等の整備を促進し、市内外からの来訪者（交流人口）を誘引する。

- ✧ 高崎アリーナ（平成 29 年開館）、高崎芸術劇場（令和元年開館）
- ✧ Ｇメッセ群馬（令和 2 年開館）
- ✧ 高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業（パブリックゾーン）など

【戦略方針２】居住人口を増やす

➢ まちなか居住の誘導・促進により、中心市街地の活力の“源”となる居住人口の増加と地域コミュニティの維持・増進を図る。

- ✧ 高崎駅東口栄町地区市街地再開発
- ✧ 宮元町第二地区優良建築物等整備事業
- ✧ 連雀町地区優良建築物等整備事業
- ✧ 高崎市居住誘導策

【STEP2】行きたいまち・行きやすいまちをつくる

【戦略方針３】まちの魅力を高める

➢ まちなか空間の魅力増進やイベント開催等により、中心市街地の集客力を高める

- ✧ 高崎市まちなか商店リニューアル助成事業
- ✧ 高崎音楽祭、ストリートライブ in 高崎どこもかしこも、TAKASAKI CITY ROCK FES.等の音楽イベント
- ✧ 高崎まちなかオープンカフェ推進事業　など

【戦略方針４】中心市街地の回遊性を高める

➢ 中心市街地の回遊性の向上を図り、中心市街地の活力と賑わいを区域全体に波及させる。

- ✧ 高松かわまち展望レストハウス整備事業
- ✧ お店ぐるりんタクシー運行事業
- ✧ 高崎まちなかコミュニティサイクル推進事業 など

【戦略目標】

高崎駅周辺で進めてきた都市集客施設の整備やイベント開催等により活力と賑わいを創出し、これを中心市街地全体に波及させる。